

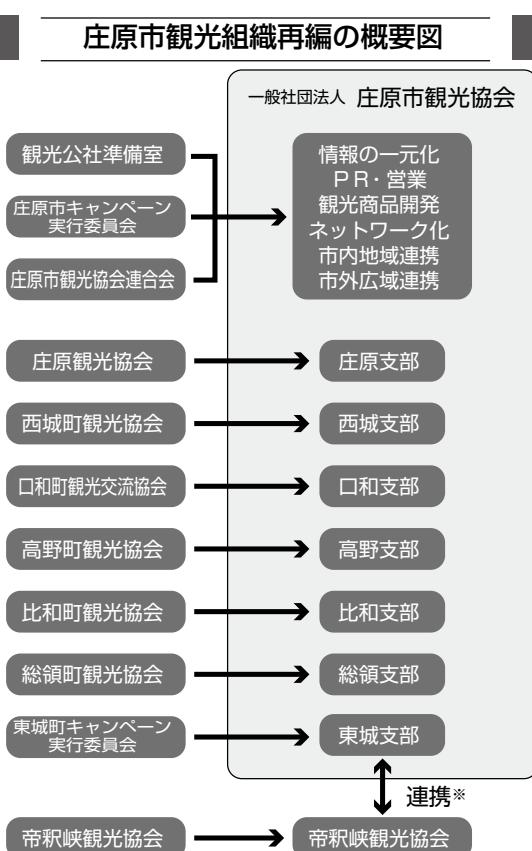
才ール庄原を目指し 新たな観光振興組織が設立

一般社団法人庄原市観光協会が始動

庄原市の観光を一体的に振興する新たな組織、「一般社団法人庄原市観光協会」が設立され、4月1日から運営を開始しました。

同協会は、旧市町単位で活動しているそれぞれの観光協会や観光振興組織を統合する形で3月8日に設立。

また、既存の観光協会などの観光関係組織が支部となり、地域事業を担当することになります。本部と支部の連携を密にし、一体的、広域的な観光振興と発展を目指します。



*帝釈峡観光協会は、神石高原町および同町の関係団体と一緒にした組織のため今回の再編対象とはしていませんが、これまで以上に連携を深めていきます。

各組織の主な役割・事業

庄原市観光協会	
本 部	支 部
<ul style="list-style-type: none"> ● 全域の観光振興に係る事業を実施する ● 支部の運営の支援 ● 観光事業の提案 ● 情報の一元化 ● 着地型事業の実施と支援 ● 新規観光商品の開発 など 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域事業を実施する ● 観光関係事業者などとの連携 ● 効果的な事業運営 ● 既存事業の継続 ● イベントなどの実行委員会組織の事務局機能 など

*庄原市観光協会は、市から業務を受託し総合観光窓口として観光振興に取り組みます。

庄原市木質バイオマス関連事業
検証委員会を設置

管財課管財係
☎ 0824-73-1203

市は、昨年暮れからの補助金不正受給の問題を受けて、これまで進めてきた木質バイオマス関連事業の事務手続きが適正であったかを法律に基づき検証するため、外部の学識経験者、金融機関、市民団体などで構成する「庄原市木質バイオマス関連事業検証委員会」を設置しました。

木質バイオマス関連事業は、国からの交付金で行つきましたが、この交付金や補助金を扱う事務の中で、「補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律」第11条第2項に、「間接補助事業者は『善良な管理者の注意をもつて間接補助事業等を行わなければならぬ』」とあり、改めてその検証をするものです。

検証するのは、バイオエタノール実証実験施設整備事業、リフレッシュハウス東城木質チップボイラーアップ事業、地域バイオマス利活用プラント整備事業の3事業です。

なお、公正中立な意見が出されるよう、委員名は非公表、会議は非公開とし、検証結果はすべての検証終了後に公表する予定です。